

IPv6 研究会の発表についてのコメント

5月23日

多摩大学情報社会学研究所 会津 泉

残念ですが、ジュネーブでのインターネット・ガバナンス・フォーラム（IGF）の準備会合に参加しているため、本日の研究会は欠席します。

以下、いただいた資料についてのコメントをお送りします。

NTT 東日本の発表について

これまでの取り組みに敬意を表します。

引き続き、光ルーターの仕様・機能を公開し、ISP だけでなく、エンドユーザーの自由な選択を可能とすること、および機器メーカーにも競争を可能とする条件を確保していただきたい。

つまり、NTT 提供の HGW だけでなく、市販ルーターを新規購入あるいは引き続き利用しても IPv6 の利用が可能となるようにしていただきたい。

（公開方法については、セキュリティを考慮することは必要か）

フレッツから NGN へのマイグレーションについて

既存ユーザーにとって、技術的な問題や選択の自由への障害が発生しないよう十分留意してほしい。

情報開示は重要であり、この研究会としても、引き続き報告を受けていきたい

全体に

NTT への「垂直統合による囲い込み」が発生しないよう、レイヤー間の分離を保証していただきたい。

つまり、NTT フレッツ・ネクストのユーザーと、他のアクセス事業者によるサービスのユーザーが、同一条件での競争のなかで選択が可能となるようにしていただきたい。

情報公開を引き続きタイムリーに実施していただきたい。